

自己のビジョン

聖書：マタイ 16:21-26. ルカ 9:23-25. ローマ 6:6. 8:13. ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17 前半

I. わたしたちは自己のビジョンを見る必要があります。それによって自己が暴露され、否まれて、わたしたちが神から、またからだから独立することを忌み嫌うようになります——マタイ 16:21-26. ヨハネ 15:4-5. ピレモン 8-14 節：

A. 自己は魂の命であり、人の意志と人の意見に重点があります——マタイ 16:23-25：

1. マタイ第 16 章 23 節から 25 節において、三つの用語が互いに関係しています。それは「思い」、「自分」、「魂の命」です。
2. わたしたちの思いは、わたしたちの自己の表現であり、わたしたちの自己はわたしたちの魂の命の具体化です—— 23-25 節。
3. わたしたちの魂の命は、わたしたちの自己によって具体化され、生かし出されます。わたしたちの自己はわたしたちの思い、考え、思想、観念、意見を通して表現されます—— 22-23 節。

B. 自己はサタンの具体化です。自己は魂の中にあるサタンの本質であって、魂に神から独立させ、自己の意見と自己の意志を表現させます—— 23 節：

1. 自己の起源はサタンが彼の思想を人の思いの中へと注入したことでした——創 3:1-6。
2. サタンからのものが魂に加えられた時、魂は自己となりました。魂に加えられたものは、サタンの思想と思いでした——マタイ 16:23. II コリント 11:3。
3. 自己は魂にサタンのような思いを加えたものです——マタイ 16:23, 25。

C. わたしたちは自己のビジョンを持っているなら、自己が何であるか、すなわち、自己が神からの独立を宣言する魂であることを見るでしょう—— 23 節. ルカ 14:26. ヨブ 42:5-6：

1. 墮落のゆえに、神によって創造された魂は、神からの独立を宣言しました——創 3:1-6：
 - a. 人はサタンの思想、考えを魂の中へと取り入れました。その結果、魂は神から独立である自己となりました。
 - b. 魂は特に意見において、また意志において神から独立しています——マタイ 16:22-23：
 - (1) 自己は魂の中にあるサタンからのものであり、意見を通して表現されます—— 23 節。
 - (2) わたしたちは自己の化身また現れとしての意見を持っています。なぜなら、わたしたちは神から独立しているからです。わたしたちは神から独立すればするほど、ますます自己の現れとしての意見を持ちます。
2. わたしたちは神に依り頼まずに自分自身で何かを行なうときはいつでも、自己の中にいます—— 22-23 節. 参照、ピリピ 3:3。
3. からだから独立することは、神から独立することに等しいです。

II. からだのビジョンを見ることに対する、またからだの生活を実行することに対する妨

げは、自己です——コロサイ 1:18. 2:18-20, 23. 3:15 :

- A. からだは自己に相對し、自己はからだの敵です——マタイ 16:18, 23。
- B. 自己は主から、またからだから独立するものであるので、自己はからだの建造に対する最大の問題です——コロサイ 1:18. 2:1-19, 23 :
 - 1. わたしたちは自己を持つとき、からだを持ちません——マタイ 16:24。
 - 2. わたしたちはからだを持つとき、自己を持ちません—— 18 節. エペソ 4:16。
- C. わたしたちは自分自身を否み、からだと一体化すべきです。わたしたちがこのことを行なうなら、わたしたちが生きる命は完全にかからだの命となり、主はご自身のからだの表現を得ます—— I コリント 12:27. コロサイ 1:18. 3:15。
- D. からだが建造されるために、自己、独立する魂は罪定めされ、否まれ、拒絶され、廢絶されなければなりません——マタイ 16:18, 21-26. ルカ 9:23-25。

III. わたしたちは自己を否み、自分の十字架を負い、主に従って行くべきです——マタイ 16:24 :

- A. 人が自己を過度に顧みることは、人が自己を愛し、常に直視し、自己について考え、考慮することです—— II テモテ 3:2。
- B. 自己を否むことは、わたしたちの自己について忘れ、わたしたちの魂の命を失うことです。魂の命を失うことは、自己を否むことの実際です——マタイ 16:26. ルカ 9:24-25。
- C. わたしたちはどのように自己を否むか、自己を取り扱うかを見る必要があります :
 - 1. わたしたちは、わたしたちの古い人がキリストと共に十字架につけられたという啓示を持つ必要があります——ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20。
 - 2. わたしたちはこの啓示を見た後、この事実を承認し、受け入れる必要があります。
 - 3. わたしたちは、キリストが成就し、わたしたちが承認したキリストの死を自身に適用する必要があります。これが十字架を担うことの正確な意義です——マタイ 16:24 :
 - a. この適用はその霊の中で遂行されなければなりません——ローマ 8:13。
 - b. わたしたちがその霊の中で生き、歩くとき、その霊はキリストの死をわたしたちに適用します——ガラテヤ 5:16, 24-25. ローマ 8:4, 13。
 - 4. 十字架を担うことは、キリストの死の殺しの下にとどまり、わたしたちの自己、天然の命、古い人を終結させることです。その際、わたしたちは自己を否み、わたしたちの霊の中におられる命を与える霊としての主、復活したキリストに従って行きます—— I コリント 15:45 後半. 6:17. ガラテヤ 5:25。

IV. わたしたちが召会生活、一人の新しい人の生活のために自己を否み、キリストをわたしたちのパーソンとすることは極めて重要です——ガラテヤ 2:20. エペソ 2:15. 4:24. 3:17 前半. コロサイ 3:10-11 :

- A. 新しい人にはただ一つのパーソンであるキリストだけがおられます——ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17 前半。
- B. わたしたちの霊が内なる人であり、この内なる人のパーソンがキリストであることをわたしたちが知るのことは極めて重要です——ローマ 8:16. エペソ 3:17 前半 :
 - 1. わたしたちはキリストをわたしたちのパーソンとしたいなら、わたしたちの霊が

単なる器官ではなく、わたしたちの霊がわたしたちのパーソンであることを見なければなりません—— 1:17. 3:16-17 前半。

2. わたしたちは、わたしたちの自己を否み、わたしたち自身のパーソンを否んで、わたしたちの新しいパーソンであるわたしたちの霊によって生きるべきです——マタイ 16:24. ローマ 8:4. エペソ 3:17 前半。
- C. この新しい人の生活である召会生活のために、わたしたちは古いパーソンを拒絶し、わたしたちの新しいパーソンであるキリストによって生きなければなりません——ルカ 9:23-25. ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20。
- D. わたしたちは絶対的な献身をし、自分自身を主に明け渡して、わたしたちのパーソンを彼に譲り渡す必要があります。それによって彼はわたしたちのパーソンとなることができます。わたしたちの献身はキリストをわたしたちのパーソンとすることです——ローマ 12:2. 14:7-8. エペソ 3:17 前半. II コリント 5:15。